

男女共同参画 vol.26 ～自分らしく、生き生きと～

近年、よく目にする「SDGs（Sustainable Development Goals）」とは、2030年までに達成すべき「持続可能な開発目標」のことです。「だれも置き去りにしないこと」を理念に、貧困・不平等・環境などの問題を解決し、持続可能な社会・地球に向けて、17の目標があります。その目標の5つ目に「**ジェンダー平等を実現しよう**」があります。

5 ジェンダー平等を実現しよう



「男性は〇〇」「女性は●●」など、社会によって作られた男性像、女性像をジェンダー（gender）といいます。このジェンダーに基づく、“らしさ”のおしつけや偏見が、差別や不平等に結びついていきます。

例えば

外で働くのは男性で、家のことをするのは女性。
男性は青、女性はピンクと決めつけること。など...

ジェンダー平等についてのわかりやすい指標として、世界経済フォーラムのグローバル・ジェンダー・ギャップ指数があります。毎年、世界各国の経済・政治・教育・健康の4分野14項目のデータから、男女平等度合いを測り、順位付けしたものです。2021年の日本の順位は120位/156か国中（前年121位）と、例年大変低い順位にとどまっています。

少しずつ改善へと向かっているようですが、女性の政治・管理職への起用や雇用条件・待遇の見直し、女性に対する暴力の根絶、育児や家事・介護への男性の参加など、社会の中で男性、女性が平等であるために、日本の社会が解決していかなければならない問題がまだまだたくさんあるということですね。

普段の自分の考えを見つめ直し、「男性だから」「女性だから」という意識を、「わたしだから」に変えていくことで、ジェンダー平等の実現に少しずつ近づいていくのではないのでしょうか。



7/25～7/31 は鹿児島県男女共同参画週間です



すべての人々が人権を尊重され、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて、集中的に啓発活動を行い、県民の方々に、より理解を深めていただけるようにと定められた週間です。